



学級一覧表 (I)

Σ(シグマ) では、結果資料の活用方法として「教育相談」を重点的に取り上げています。ここでは、「生徒との相談」「保護者との懇談」の必要項目を一覧表としてまとめ、「教育相談のプランづくり」に役立てようとしています。

相談のときに役立つ ★学級一覧表の見方・活用のすすめ

〔教育相談のための総合調査・シグマ〕では、結果資料の活用方法として「教育相談」を重点的にとりあげ、すべての資料はその方向で構成してあります。この〔学級一覧表〕も、教育相談のプランづくりの際や、実際に相談をおこなう先生に役立てていただく資料を要約してあります。

(I) 相談のきっかけ

〔個人票〕該当部分のコメント箇所から分類したもので、いわゆる「呼びかけ面接」の必要度の判断にお役立てください。

「先生の呼びかけが必要……つまり、自発的には相談できない」と判断されている生徒のなかには「相談したくてもできない生徒」がいます。先生の、ちょっとしたお心づかいが生徒の心をなごませ、その後の信頼関係につながることでしょう。

(II) 相談相手に望んでいる人

望んでいる相手が複数の生徒もいれば、全くの無頓着な生徒もいます。

(III) 相談の要点

この欄にある*印は〔個人票〕の該当部分が10段階尺度の①②③の位置にあることを示しています。生徒の「主訴」にも代わるものとして「治療的相談」の際の援助のポイントに生かしてください。

(参考)

〔調査の検証〕欄の…△印の項目は、どちらも生徒の自己評価点ですから、必要に応じて担任の先生の観察を加えていただき、その比較から調査に反映した判断基準の甘さ厳しさをチェック願います。

- ※ △生活態度の判断は、5～「とくにまじめ」
4～「まじめ」・3～「ふつう」
2～「ややふまじめ」・1～「ふまじめ」
- △成績の自己評価点は(5段階)。
無印は「わからない」と答えています。

Σ

教育相談総合調査
 見本 (高等学校)
 3年1組
 男 23名
 女 17名
 計 40名
 学級数 4



(No.) (氏名)

	(I) 相談のきっかけ				(II) 相談相手に望んでいる人					(III) 相談の要点							(参考)		(メモ)							
	★自発的に相談できるタイプ	★先生の呼びかけが必要タイプ	よく相談している	相談したが呼びかけを待っている	父	母	その他の家族	先生	友人	その他の人	相談相手がない	①学習の充実感が低い	②学習意欲を失っている	③自信をなくしている	④ゆきづまり感が強い	⑤自己否定感が強い	⑥対人の疎外感が強い	⑦家庭不適応感が強い	⑧学校不適応感が強い	⑨問題解決意志が弱い	△生活態度の判断	△成績の自己評価				
1 秋田昌男	*			*				*			*	*	*	*	*	*					1	2				
2 飯塚義三	*			*				*			*	*	*	*	*	*						2	2			
3 上野秀一	*		*		*			*			*	*	*	*	*	*						2	3			
4 江別安雄	*							*			*	*	*	*	*	*						2	3			
5 大阪一郎	*							*			*	*	*	*	*	*						2	2			
6 柏崎洋	*							*			*	*	*	*	*	*						3	3			
7 岐卓和男	*				*			*			*	*	*	*	*	*						3	3			
8 気仙沼太郎	*							*			*	*	*	*	*	*						4	3			
9 佐伯次郎	*							*			*	*	*	*	*	*						2	1			
10 須崎康平	*							*			*	*	*	*	*	*						4	4			
11 高知広樹	*							*			*	*	*	*	*	*						3	3			
12 田川哲也	*							*			*	*	*	*	*	*						3	3			
13 玉名聡志	*							*			*	*	*	*	*	*						2	3			
14 竹田光史	*							*			*	*	*	*	*	*						2	3			
15 那覇徹	*							*			*	*	*	*	*	*						4	4			
16 新潟輝展	*							*			*	*	*	*	*	*						3	3			
17 西尾三郎	*							*			*	*	*	*	*	*						3	3			
18 沼田典憲	*							*			*	*	*	*	*	*						2	3			
19 野田陸生	*							*			*	*	*	*	*	*						*	2	1		
20 三鷹駿	*							*			*	*	*	*	*	*						3	3			
21 村上伸宏	*							*			*	*	*	*	*	*						3	3			
22 守山光	*							*			*	*	*	*	*	*						2	3			
23 八尾真矢	*							*			*	*	*	*	*	*						5	4			
24 明石あゆみ	*							*			*	*	*	*	*	*						4	4			
25 芦屋美貴	*							*			*	*	*	*	*	*						3	3			
26 井原優梨	*		*					*			*	*	*	*	*	*						3	3			
27 宇佐むつ美	*							*			*	*	*	*	*	*						*	2			
28 臼杵純菜	*			*				*			*	*	*	*	*	*						5	4			
29 釧路珠美	*							*			*	*	*	*	*	*						3	3			
30 巖美瑩子	*		*					*			*	*	*	*	*	*						3	2			
31 瀬戸紗也夏	*							*			*	*	*	*	*	*						5	5			
32 武雄希実	*							*			*	*	*	*	*	*						3	4			
33 津久見康子	*		*					*			*	*	*	*	*	*						5	5			
34 戸畑千華	*		*					*			*	*	*	*	*	*						1	1			
35 花巻和美	*							*			*	*	*	*	*	*						4	3			
36 久居晴子	*							*			*	*	*	*	*	*						4	5			
37 水戸久美	*		*					*			*	*	*	*	*	*						3	3			
38 真岡愛弥	*							*			*	*	*	*	*	*						3	2			
39 八女とも実	*							*			*	*	*	*	*	*						1	3			
40 和光詩織	*		*					*			*	*	*	*	*	*						2	3			

保護者との懇談のテーマとなる A~F

(No.)	A	B	C	D	E	F
1						F
2				D		F
3						F
4						F
5		B	C			F
6						F
7	A					F
8						F
9	A					F
10						F
11	A		C			F
12						F
13		B				F
14						F
15						F
16						F
17						F
18						F
19		B		D		F
20						F
21	A					F
22						F
23						F
24						F
25						F
26						F
27					E	F
28						F
29						F
30						F
31						F
32						F
33						F
34	A					F
35						F
36						F
37			C			F
38						F
39						F
40	A					F

★「保護者との懇談」も「教育相談」のひとつです。
★〔個人票〕該当欄のコメントを分類したのがA~Fです。各内容は下記の説明を参照してください。

A ★期待過剰
「期待」は大き過ぎると逆効果です。親子関係にもミソが子どもの心理的成長をも妨げます。「目的までの距離」よりも「現在の努力」を評価するのが真の期待です。

B ★不登校
登校前、頻りに身体を調子が悪くなるのは「不登校の前兆」と言われています。家庭で気づかれたことは早々に担任の先生に伝え、協力して、表面化以前の対応をはかるのが大切です。

C ★ストレス
〔身体の健康〕についての悩みや気がかりが多いのはストレスが溜まっているしるしです。イライラや緊張感が強いのは心配ですから〔リラックス〕の方法などを考えてみましょう。

D ★意欲喪失
学習についてのやる気が失われると学校をも避けるようになり、中途退学にもなりかねません。やる気喪失の根本理由を考えて、対応を急がなければ、学力が低下するという悪循環が生まれます。

E ★対話不足
家族との対話も途絶えがちになるときは、子どもが何かの理由から「まわりに心を閉ざしている」からで、「わかってくれない」というのは、心が開かないで困っている子どもの焦りです。

F
生徒の応答からは、とくに、保護者の援助を促すテーマは見当りません。先生がお気づきになっている「生徒の肯定的な側面」を積極的に取上げてお伝えください。

※ 生徒との相談・保護者との懇談の際のテーマとなる、具体的な「生徒の主訴」は、別紙「学級一覧表(II)」を参照してください。